



『血管撮影装置を導入しました』



メーカー：(株)フィリップスジャパン
品名：血管造影 X 線診断装置
形式：Azurion7 20/15 with Clarity

この度当院では、最新の血管撮影装置（PHILIPS 社製 Azurion 7 B20/15）を導入し、令和 2 年 4 月 1 日より稼働を開始しました。従来の装置と比較し、被爆放射線量の低減（最大 73%）を実現しながらも高画像が得られます。また正面および側面の 2 方向を同時に連続撮影することで検査時間や造影剤の使用量が大幅に減り、患者様への身体的負担を軽減します。

血管撮影装置が 2 台体制となりましたので、治療の遅れが許されない急性心筋梗塞に対する血管形成術や脳梗塞急性期に対する血栓回収術などが常時施行可能となりました。加えて、従来から行なっている不整脈に対するアブレーションや脳動脈瘤に対するコイル塞栓術なども、より安心で安全な治療を行なってまいります。

循環器内科における血管内治療について

当科では 365 日 24 時間体制で急性心筋梗塞などの循環器疾患に対応しています。虚血性心疾患に対するカテーテル治療（PCI）は心筋シンチや FFR（冠血流予備比）などによる虚血評価を行い、血管内イメージング（OCT, IVUS）を用いて総合的な判断を行い治療に努めています。また下肢閉塞性動脈硬化症・その他の末梢血管疾患（鎖骨下動脈狭窄症等）に対しても積極的にカテーテル治療を行っています。治療器具の発達もあり、2019 年度では PCI 初期成功率は 150 例中 150 例（100%）、治療に伴う合併症は 0 例でした。

また末梢血管疾患においては、重症虚血肢症例（下肢潰瘍・壊疽）が増加に伴い、慢性完全閉塞病変症例も増加しましたが初期成功率は 33 例中 32 例（96.9%）でした。

今後も安全で質の高い治療を行えるように取り組んでいきたいと考えています。

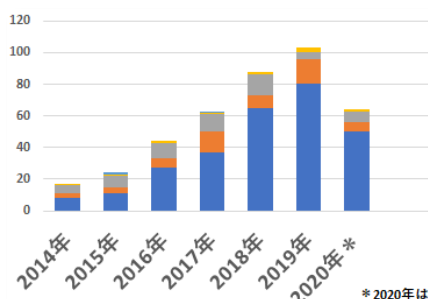
循環器内科 部長 半田 充輝

～～不整脈治療について～～

当院では 2015 年から不整脈治療であるカテーテルアブレーションを本格的に行うようになりました。

2019 年は年間 100 例を超え、症例件数は徐々に増えてきています。不整脈疾患の内訳としては心房細動が全体の 8 割を占めています。アブレーションの対象疾患は心房細動の他に発作性上室頻拍、心房粗動、心房頻拍、心室頻拍（心室性期外収縮）が挙げられます。治療の多くを占める心房細動アブレーション

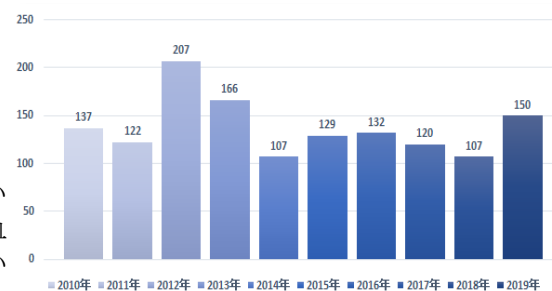
当院での Ablation 件数



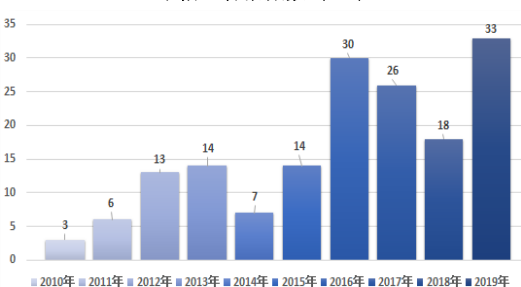
の当院の特徴は、麻酔科医の管理下、全身麻酔で行う事です。これにより患者様の苦痛軽減はもちろん、合併症リスクを減らせ、安全に治療を行うことができます。初回アブレーション 1 年後の洞調律維持率は発作性/持続性/慢性心房細動でそれぞれ 85%, 84%, 60% であり、他の施設と比較しても見劣りすることなく、ある程度の治療効果は見込めると考えています。

循環器内科 医長 小谷 健

冠動脈治療数（PCI）



末梢血管治療数（EVT）



脳外科 24時間365日で対応!



表1 救急車 搬送数

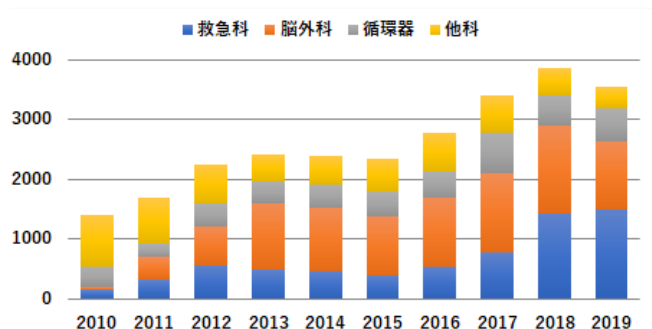
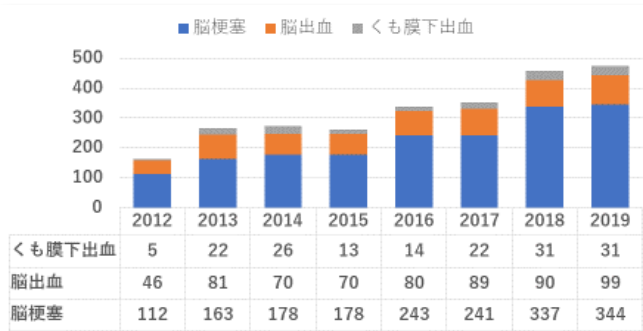


表2 脳血管障害 入院数



平素から皆様方には大変お世話になり有難うございます。

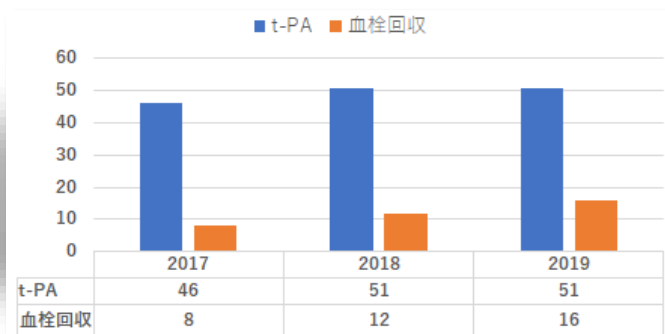
当院では積極的に救急車の受け入れを行ってまいりました。その結果 10 年前に比べ約 3 倍の搬入数となっております (表 1)。また脳卒中急性期の患者数も増加しております (表 2)。今後も高齢化に伴い救急搬送数が増加すると思われる、それに対応すべく医師の人員確保などに努めている所です。

その一環として、脳神経外科医師を本年 7 月から 7 名と増員しました。同月より毎日当直業務を行い、24 時間 365 日救急対応してまいります。また脳梗塞急性期に対し、t-PA 静注療法や血栓回収術を行ってまいりましたが (表 3)、いずれも治療の遅れが許されないため、今回最新機種の血管撮影装置を増設しました。これにより MRI、CT、血管撮影装置はそれぞれ 2 台ずつの稼働となり、予定手術中も常時迅速に緊急治療を行うことが可能となりました。

今後も医療の質と安全を向上すべく、スタッフ一同精進して参りますので、ご指導ご鞭撻のほど何卒よろしくお願い申し上げます。

副院長 中嶋千也 (脳神経外科)

表3 t-PA 静注療法および血栓回収術



新人医師 紹介 宜しくお願い致します

*脳外科医長 林 真人(はやし まさと)

2020 年 7 月神戸掖済会病院、脳神経外科に着任いたしました林 真人と申します。約 2 年間第一線の脳神経外科から外れていましたが、当院副院長の中嶋先生と以前同じ職場で働いていたご縁もあり、入職させていただきました。脳神経外科はあらゆる脳をはじめ、脳以外のあらゆる神経疾患を専門としております。患者様で何かお困りのことがあれば、いつでも相談していただければ幸いです。一生懸命頑張りますので何卒よろしくお願い申し上げます。





*脳外科医師 安田 貴哉(やすだ たかや)

2020年4月 神戸掖済会病院 脳神経外科に着任いたしました安田貴哉と申します。副院長でもある脳神経外科 中嶋先生の「一人でも多くの卒中患者を救いたい」という熱い思いに感銘を受け、厚くお誘いいただいたことがご縁で参りました。

脳卒中(脳梗塞、脳出血、くも膜下出血等)は軽症から重症まで幅広く、また診断に時間を要して苦慮するものから1分1秒を争うものまで多岐に渡ります。あらゆる脳卒中の急性期加療に従事して参りました経験を活かしつつ、血管障害や脳腫瘍などの直達手術に加えて近年急速に進歩を遂げている血管内治療も得意としておりますのでいつでもご相談、ご紹介いただけましたら幸いです。患者様をはじめ日頃よりお世話になっております皆様のお役に立つことが出来るよう尽力いたしますのでお力添えいただきたく何卒よろしくお願い申し上げます。



*整形外科医師 井上 陽公(いのうえ あきとも)

はじめまして。4月より神戸掖済会病院整形外科に着任した井上陽公と申します。近畿大学医学部卒業後、同大学で初期研修2年、その後整形外科医として大阪の大東市にある野崎徳洲会病院、大阪国際がんセンターを経て当院に赴任となりました。

趣味は映画、食べ物、睡眠、時々運動です。好奇心旺盛なので何か新しかったり面白い話があれば声掛けてくれるとありがたいです。

異動してきたばかりで病院について知らない事だらけですが、基本的にやり方等全く拘りないので分からない事をお教えて頂けると嬉しいです。ご迷惑おかけすること多いと思いますが何卒宜しくお願い致します。



*眼科医師 松岡 大貴(まつおか たいき)

兵庫医科大学眼科入局2年目の松岡大貴です。生まれは神戸で、大学は富山で、初期臨床研修は大阪で行いました。2019年に兵庫医科大学眼科へ入局し、1年大学病院で研修させて頂いた後、2020年4月より、神戸掖済会病院でお世話になっております。専門分野はまだありませんが、眼科一般領域を担当致します。

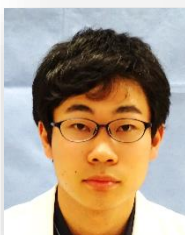
特にこれといった趣味はありませんが、映画鑑賞や、岩盤浴や銭湯、旅行などをしている時が楽しいです。最近は紅茶にもはまっています。神戸掖済会病院は温かい雰囲気 of 病院で、看護師さんやコメディカルの皆様方もとても優しく、非常に働きやすい環境の病院だと日々感じています。このような素晴らしい職場で、スタッフの皆様方と力を合わせて、地域医療に少しでも貢献できるように努力して参ります



*脳外科医師 樋上 真之(ひがみ まさゆき)

この度神戸掖済会病院初期研修医を終え、今年度より脳神経外科後期レジデントとして神戸掖済会病院脳神経外科として再度スタートをきることになった樋上 真之(ひがみ まさゆき)と申します。大阪市立大学医学部を卒業し、この初期研修医2年間である程度の基礎知識を身に付けてきました。今後は専門分野である脳神経外科領域で良い医療を行えるよう鋭意努力して参ります。

趣味としてはデジタルで風景画などを描いたり、学生のころはDTMというパソコンで音楽をつくるソフトを使って音楽をつくるといったことを行って参りました。初期研修医1年目の時に当時研修医2年目の女性医師結婚式の手紙を書く際、とある曲を編曲させていただいたりしたのは良い思い出です。この2年間お世話になった方々もいらっしゃると思いますが今後共何卒よろしくお願い致します。



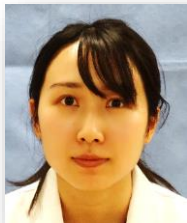
*阿部 文章(あべ ふみあき)

初めまして研修医1年目の阿部文章(あべふみあき)と申します。神戸出身で、地元神戸で研修医として働くことができうれしく思っています。出身大学は大阪医科大学で、ラグビーをしていました。一昨年は西医体で優勝致しました。ラグビーを通して培った体力とチームワーク力を生かしてゆければと思っています。

神戸掖済会病院に入職してまだ間もないですが、優しい先輩の先生方に丁寧

に指導して頂き、気づきや発見の多い毎日を送らせていただいています。2年間を通して、先輩方のような信頼される医師を目指したいと思います。精一杯頑張っていきますので、今後ともよろしくお願い致します。

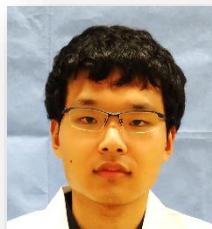




*井上 美奈子(いのうえ みなこ)

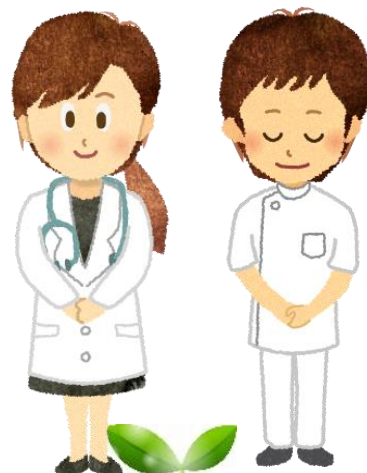
この度、神戸掖済会病院の初期研修医になりました井上美奈子と申します。地元神戸の病院で働くことができ、大変嬉しく思っています。初期研修の2年間がいよいよ始まり、ようやく医師としての人生をスタートできるという期待感と、実際の臨床現場に出て責任が増すことに対する緊張感が入り混じっています。現在は救急科と麻酔科を回らせて頂いていますが、先生方やメディカルスタッフの方々にはご迷惑をかけてばかりいます。しかし非常に丁寧にご指導頂いているので、しっかり吸収し日々精進して参ります。どうぞよろしくお願い致します。趣味は野球観戦です。みなさんも阪神タイガースを応援しましょう！

*新村 啓介(しんむら けいすけ)



この度、神戸掖済会病院で初期研修医として働くこととなりました、新村啓介(しんむらけいすけ)と申します。大阪で生まれ育ち、この春、大阪大学を卒業いたしました。

以前よりコンピュータや電子工作を愛好しており、プログラミングやデバイス開発を趣味としています。また、ガーデニングもといエアープランツという植物の栽培にここ10年弱ほど取り組んでおり、小規模ながら愛でながら繁茂させています。まだ慣れないことだらけでご迷惑をお掛けすることも多いとは思いますが、早く仕事に慣れて、病院に貢献できるようになりたいと切望しております。そのためにも全力で努力して参りますゆえ、これからもどうぞよろしくお願い致します。



宜しくお願い致します



【地下鉄学園都市駅から】山陽バス・神戸市バス 約12分

【地下鉄名谷から】山陽バス 約20分

【JR垂水駅から】山陽バス・神戸市バス 約20分



周辺図 ▶



〒655-0004
神戸市垂水区学が丘1丁目21番1号
TEL: 078-781-7811 (代表)
FAX: 078-781-1511
<http://www.kobe-ekisaikai.or.jp>